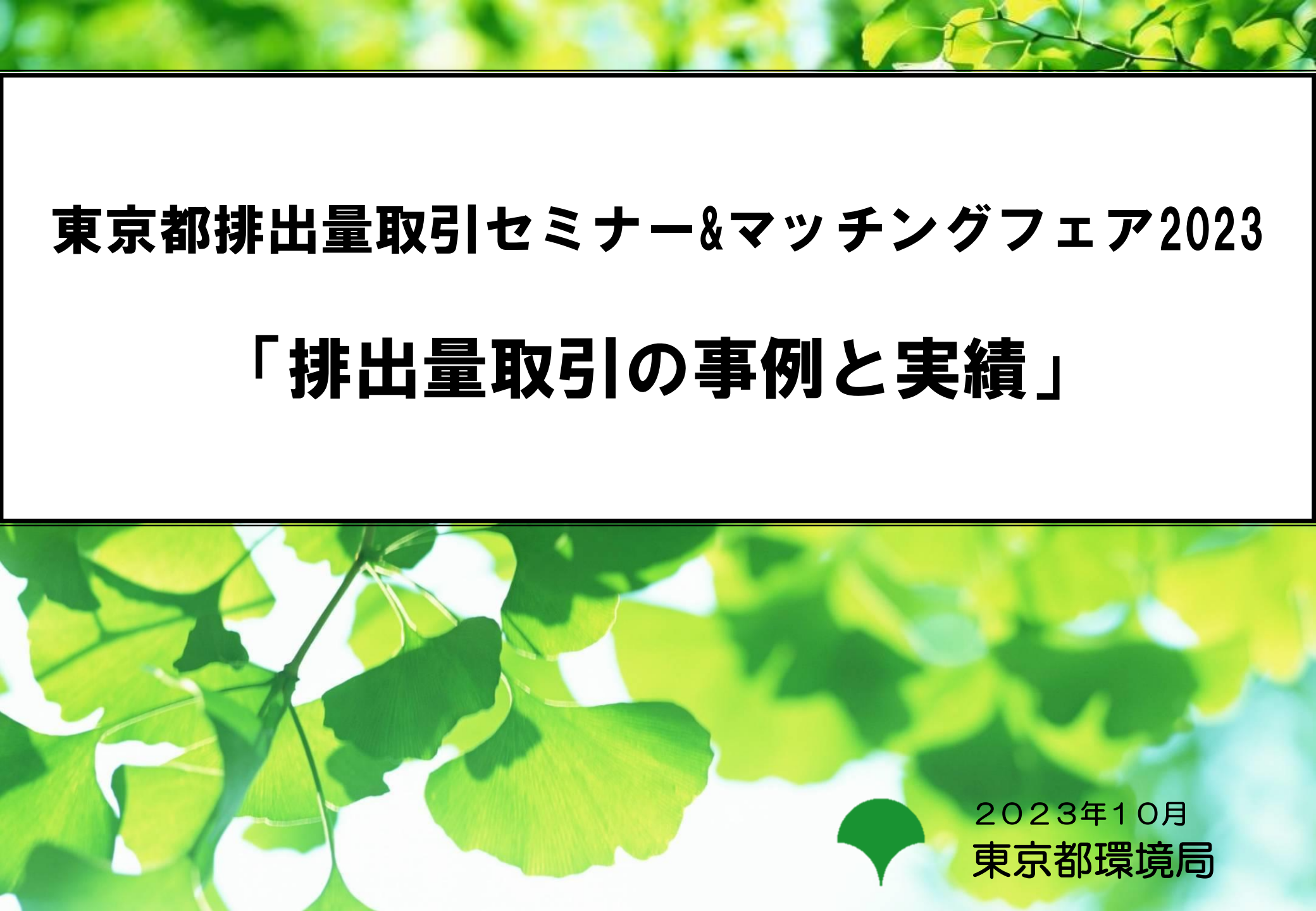


The background of the slide is a vibrant green, featuring out-of-focus ginkgo leaves. The top and bottom edges of the slide are framed by these leaves, while the central text area is white.

東京都排出量取引セミナー&マッチングフェア2023

「排出量取引の事例と実績」



2023年10月
東京都環境局



目次

1. 排出量取引の事例

- (1) 取引の流れ
- (2) 具体的事例

2. 排出量取引の実績

- (1) 制度対象事業所のCO₂削減実績
- (2) 義務履行状況
- (3) 取引実績
- (4) 実績情報の掲載場所



目次

1. 排出量取引の事例

- (1) 取引の流れ
- (2) 具体的事例

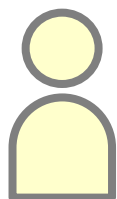
2. 排出量取引の実績

- (1) 制度対象事業所のCO₂削減実績
- (2) 義務履行状況
- (3) 取引実績
- (4) 実績情報の掲載場所

1. (1) 取引の流れ

- ① 一般管理口座開設・関連付け
- ② 不足する削減量の確認
- ③ 売り手を探す
- ④ 契約を交わす
- ⑤ 振替申請書を提出
- ⑥ 決済処理（**移転実行**・代金の支払い等）
- ⑦ 振替申請書を提出（義務充当のため）

義務履行のために
⑥「申請書の提出」
が必要
（クレジットを調達
しただけでは義務履
行できていません。
）



移転元（売り手）が実施

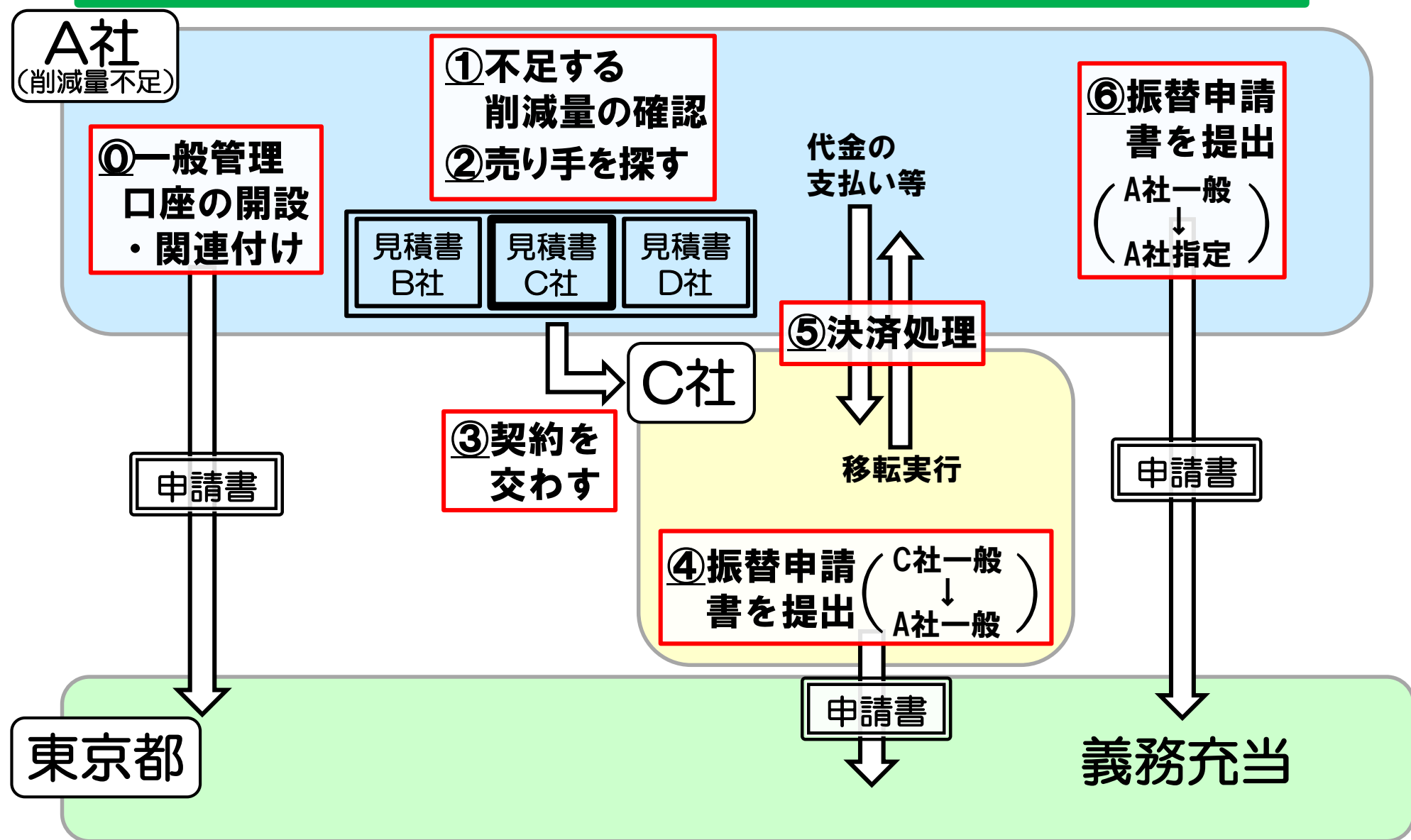
移転元（売り手）

移転先（買い手）が実施

移転先（買い手）



1. (1) 取引の流れ





1. (2) 具体的事例

事例 1 取引費用の試算

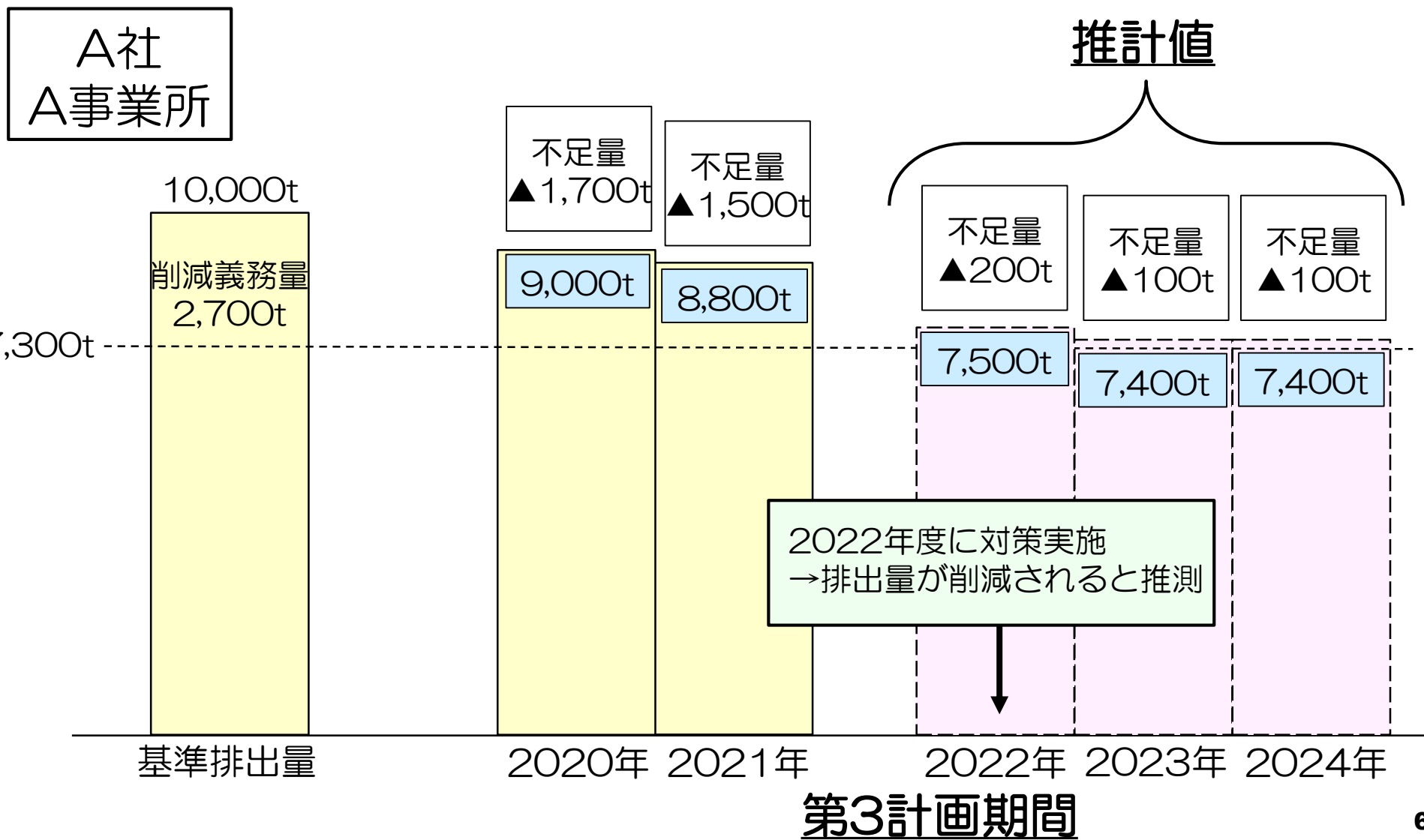
事例 2 購入するクレジット量と削減義務履行状況
の確認方法

事例 3 義務充当の手続きにおける留意点

事例 4 超過削減量の発行時期と売却

事例 5 削減義務履行とバンキングの流れ

事例 1 取引費用の試算

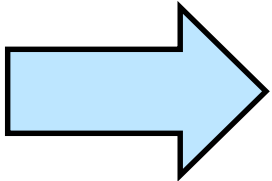


事例 1 取引費用の試算

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{不足量} \\ \hline \blacktriangle 1,700\text{t} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{不足量} \\ \hline \blacktriangle 1,500\text{t} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{不足量} \\ \hline \blacktriangle 200\text{t} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{不足量} \\ \hline \blacktriangle 100\text{t} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{不足量} \\ \hline \blacktriangle 100\text{t} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{不足量の合計} \\ \hline \text{(見込み)} \\ \hline \blacktriangle 3,600\text{t} \\ \hline \end{array}$$

事例 1 取引費用の試算

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{不足量} \\ \hline \blacktriangle 1,700\text{t} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{不足量} \\ \hline \blacktriangle 1,500\text{t} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{不足量} \\ \hline \blacktriangle 200\text{t} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{不足量} \\ \hline \blacktriangle 100\text{t} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{不足量} \\ \hline \blacktriangle 100\text{t} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{不足量の合計} \\ \hline \text{(見込み)} \\ \hline \blacktriangle 3,600\text{t} \\ \hline \end{array}$$

 取引費用 = 想定単価 × 削減不足量
(3,600t)

事例 1 取引費用の試算

削減不足量の想定

- 総量削減義務と排出量取引システムの指定管理口座において基準排出量と削減義務率をしっかりと確認しておく。
- 途中の年度で削減義務率等が変化した場合（例えば、トップレベル事業所に認定される等）には、不足量も変化することを踏まえる。
- 削減対策の実施をしっかりと計画し、その対策による削減量を推計する。

取引単価の想定

- 事業者に見積依頼をして得られる単価
（なるべく多くの事業者から得ることが望ましい。）
- グリーン電力証書等の取引単価
- 東京都が公表する取引価格の調査結果 等

事例2 購入するクレジット量と削減義務履行状況の確認方法

■ 義務履行状況

B社 B事業所

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 整理期間	削減義務 期間合計
基準排出量	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		50,000
事業所区分	I-1	I-1	I-1	I-1	I-1		
トップレベルの判定							
医療施設緩和措置							
削減義務率	27%	27%	27%	27%	27%		
特定温室効果ガス排出量	8,200	7,400					15,600
排出削減量	1,800	2,600					4,400
その他ガス削減量の義務充当量							
振替可能削減量の義務充当量							
超過削減量の発行量							
取引を加味した排出削減量	1,800	2,600	0	0	0		4,400
超過削減量発行可能量	0	0					0

残りの削減義務期間における排出上限量	20,900 t-CO2
前年度排出量を維持したときの残りの削減義務期間における排出量	0 t-CO2
前年度排出量を維持したときに削減義務量に不足する削減量	1,300 t-CO2
前年度排出量を維持したときに移転 又は次の削減計画期間における義務充当(バンキング)が可能な削減量	0 t-CO2

■ クレジット保有状況

第1期クレジット	
第2期クレジット	300 t-CO2
第3期クレジット	

計画期間途中

①不足すると推定
される削減量
1,300t

I

②保有クレジット
300t

II

購入が必要と
推定される
クレジット量
1,000t

事例2 購入するクレジット量と削減義務履行状況の確認方法

■ 義務履行状況

B社 B事業所

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 整理期間	削減義務 期間合計
基準排出量	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000		50,000
事業所区分	I-1	I-1	I-1	I-1	I-1		
トップレベルの判定							
医療施設緩和措置							
削減義務率	27%	27%	27%	27%	27%		
特定温室効果ガス排出量	8,200	7,400	7,300	7,500	7,100		37,500
排出削減量	1,800	2,600	2,700	2,500	2,900		12,500
その他ガス削減量の義務充当量							
振替可能削減量の義務充当量							
超過削減量の発行量							
取引を加味した排出削減量	1,800	2,600	2,700	2,500	2,900		12,500
超過削減量発行可能量	0	0	0	0	0		0

残りの削減義務期間における排出上限量	-1,000 t-CO2
前年度排出量を維持したときの残りの削減義務期間における排出量	0 t-CO2
前年度排出量を維持したときに削減義務量に不足する削減量	1,000 t-CO2
前年度排出量を維持したときに移転 又は次の削減計画期間における義務充当(バンキング)が可能な削減量	0 t-CO2

■ クレジット保有状況

第1期クレジット	
第2期クレジット	300 t-CO2
第3期クレジット	

計画期間終了後

①不足する
削減量
1,000t

I

②保有クレジット
300t

II

購入が必要な
クレジット量
700t

事例2 購入するクレジット量と削減義務履行状況の確認方法

計画期間終了後

■ 義務履行状況

B社 B事業所

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 整理期間	削減義務 期間合計
基準事業所							50,000
トータル							
医療削減							
特定削減							
排出削減量	1,800	2,600	2,700	2,500	2,900		12,500
その他ガス削減量の義務充当量							
振替可能削減量の義務充当量						1,000	1,000
超過削減量の発行量							
取引を加味した排出削減量	1,800	2,600	2,700	2,500	2,900		
超過削減量発行可能量	0	0	0	0	0		

保有クレジット（300t-CO₂）と取引（700t-CO₂）により不足量を充当

残りの削減義務期間における排出上限量 -1,000

前年度排出量を維持したときの残りの削減義務期間における排出量	0 t-CO ₂
前年度排出量を維持したときに削減義務量に不足する削減量	0 t-CO ₂
前年度排出量を維持したときに移転又は次の削減計画期間における	0 t-CO ₂

義務充当により「0t-CO₂」に変更

■ クレジット保有状況

第1期クレジット	
第2期クレジット	0 t-CO ₂
第3期クレジット	

保有クレジットの使用により「0t-CO₂」に変更

事例3 義務充当の手続きにおける留意点

C社 C事業所

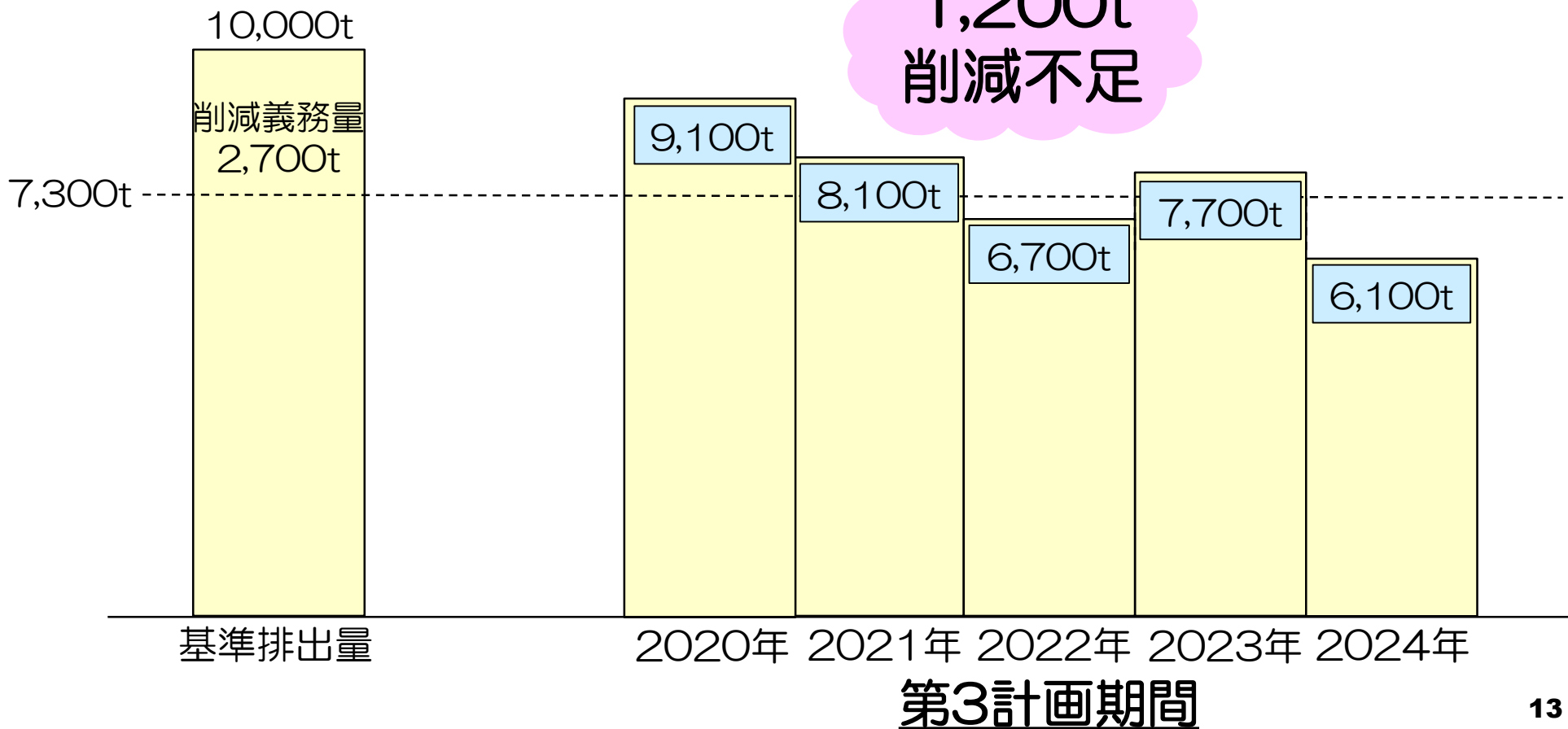
排出可能上限量

$$7,300\text{t} \times 5\text{か年} = 36,500\text{t}$$

排出実績量

37,700t

<
1,200t
削減不足



事例 3 義務充当の手続きにおける留意点

一般管理口座

購入クレジット①
(第二～第三計画期間の
義務履行に利用可能)

500t
～3期

300t
～4期

購入クレジット②
(第三～第四計画期間の
義務履行に利用可能)

指定管理口座

保有クレジット

600t
～3期

削減不足量
1,200t

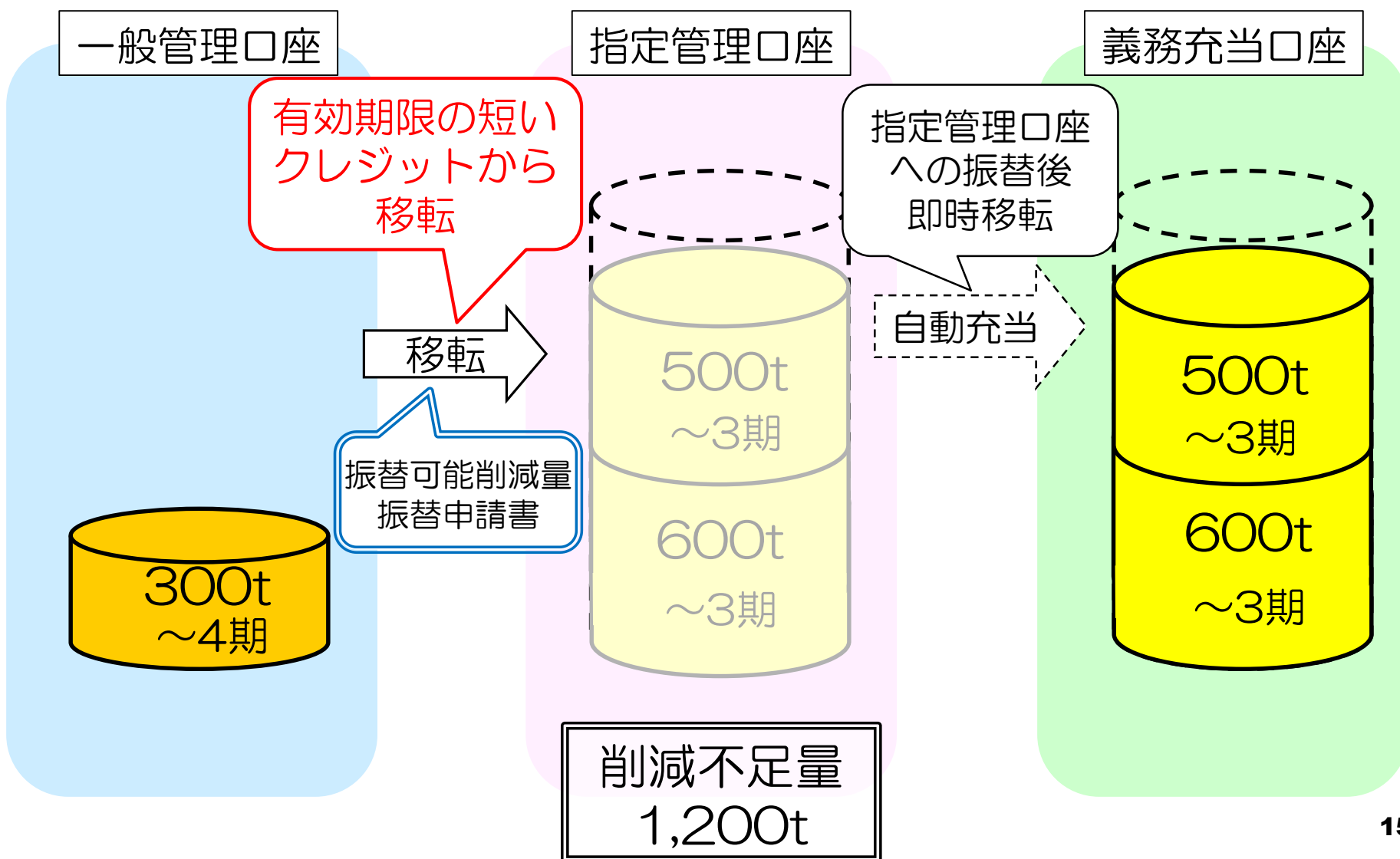
義務充当口座

600t
～3期

自動充当

義務履行期限日の
30日前の翌日以降に
自動で移転

事例 3 義務充当の手続きにおける留意点

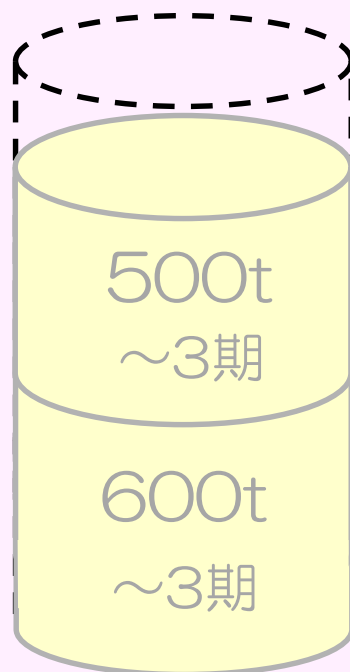


事例 3 義務充当の手続きにおける留意点

一般管理口座

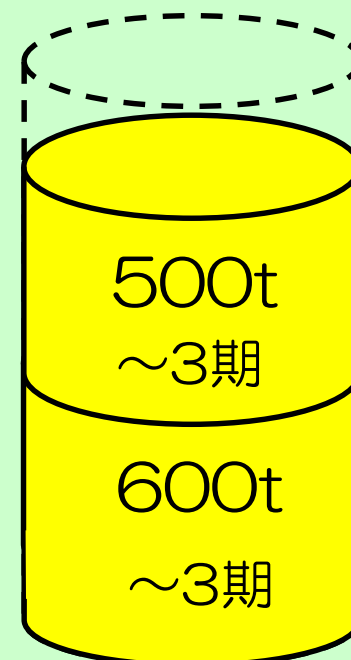


指定管理口座

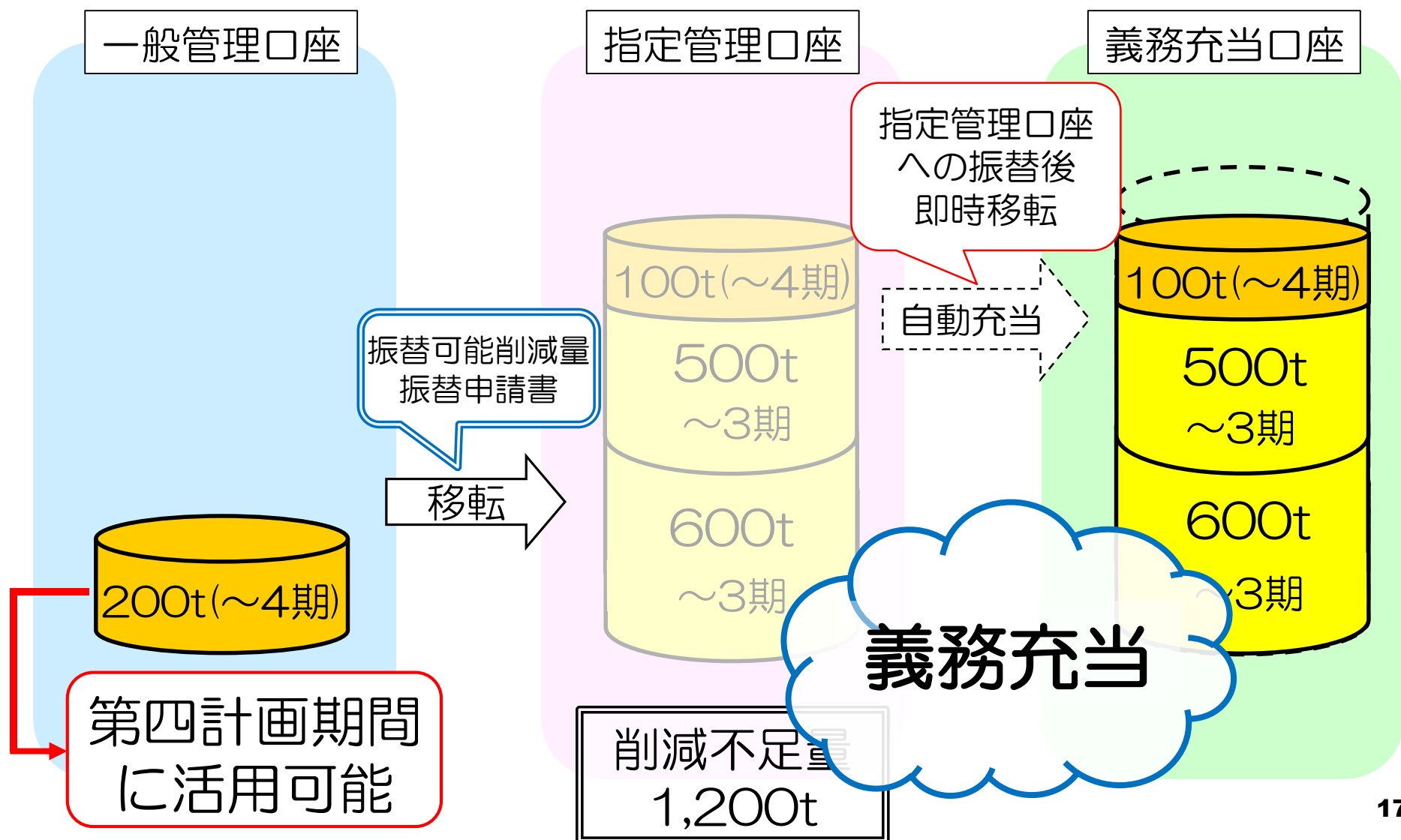


削減不足量
1,200t

義務充当口座



事例 3 義務充当の手続きにおける留意点



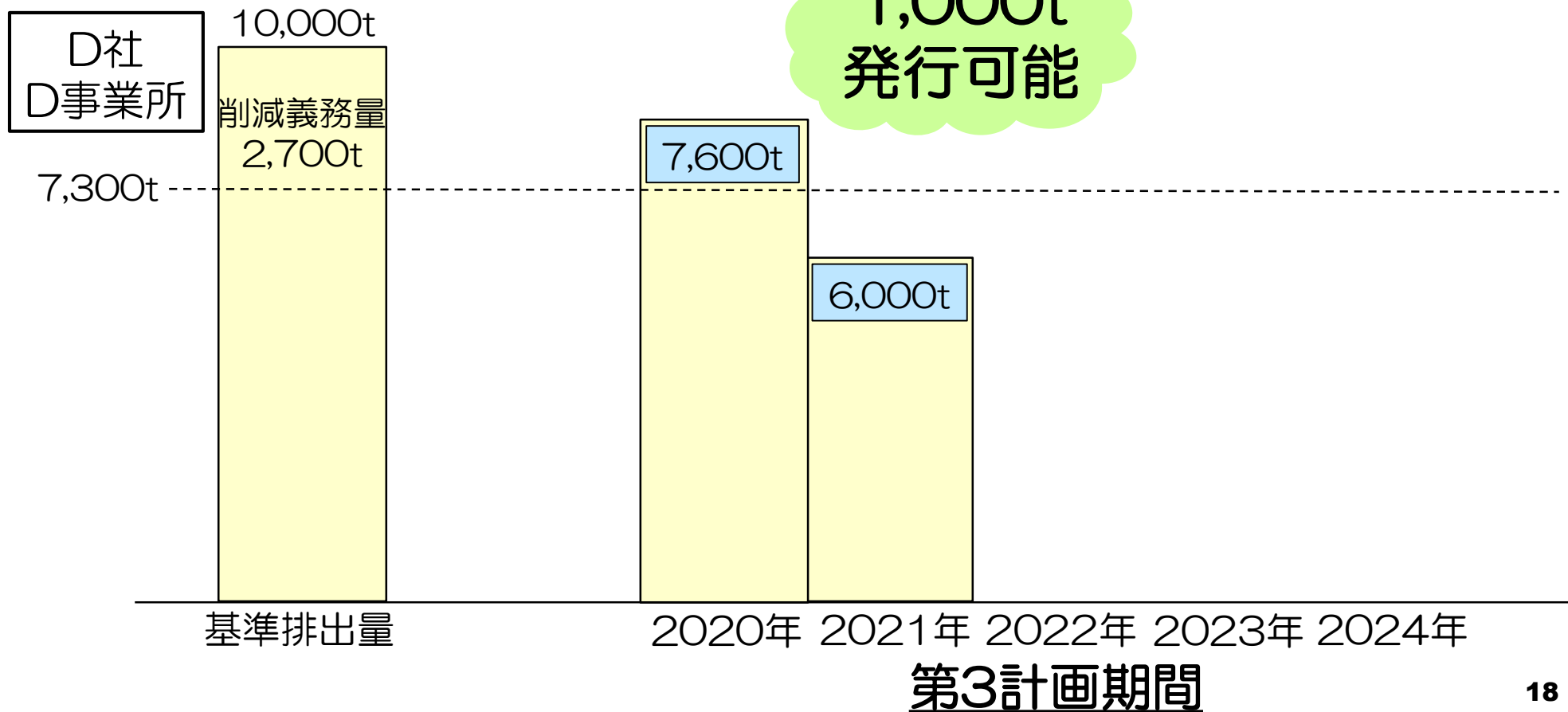
事例4 超過削減量の発行時期と売却

排出可能上限量（2年間）
 $7,300\text{t} \times 2\text{か年} = 14,600\text{t}$

>

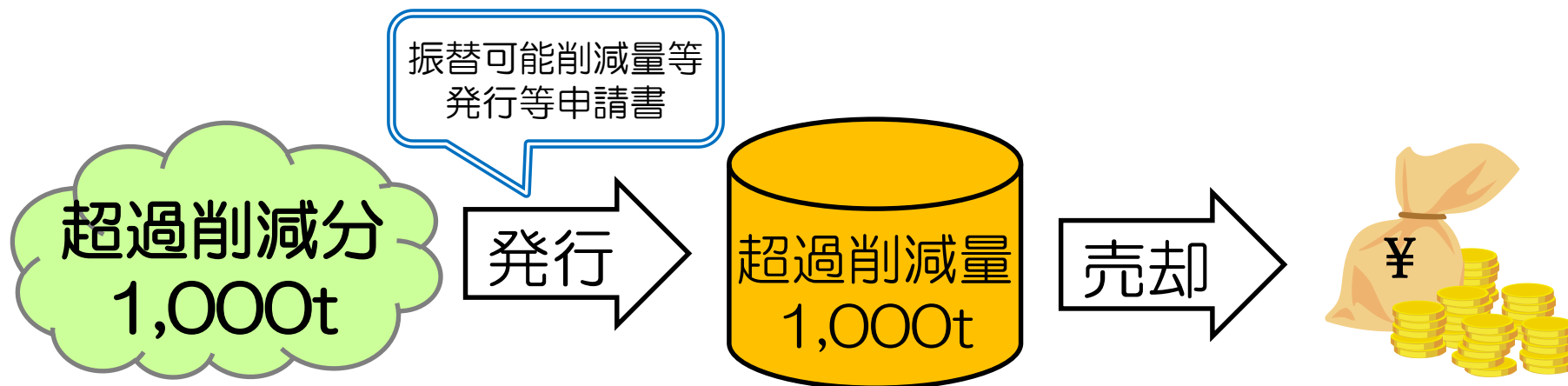
排出実績量（2年間）
13,600t

1,000t
発行可能



事例4 超過削減量の発行時期と売却

ケース①：計画期間の途中で発行・売却



メリット

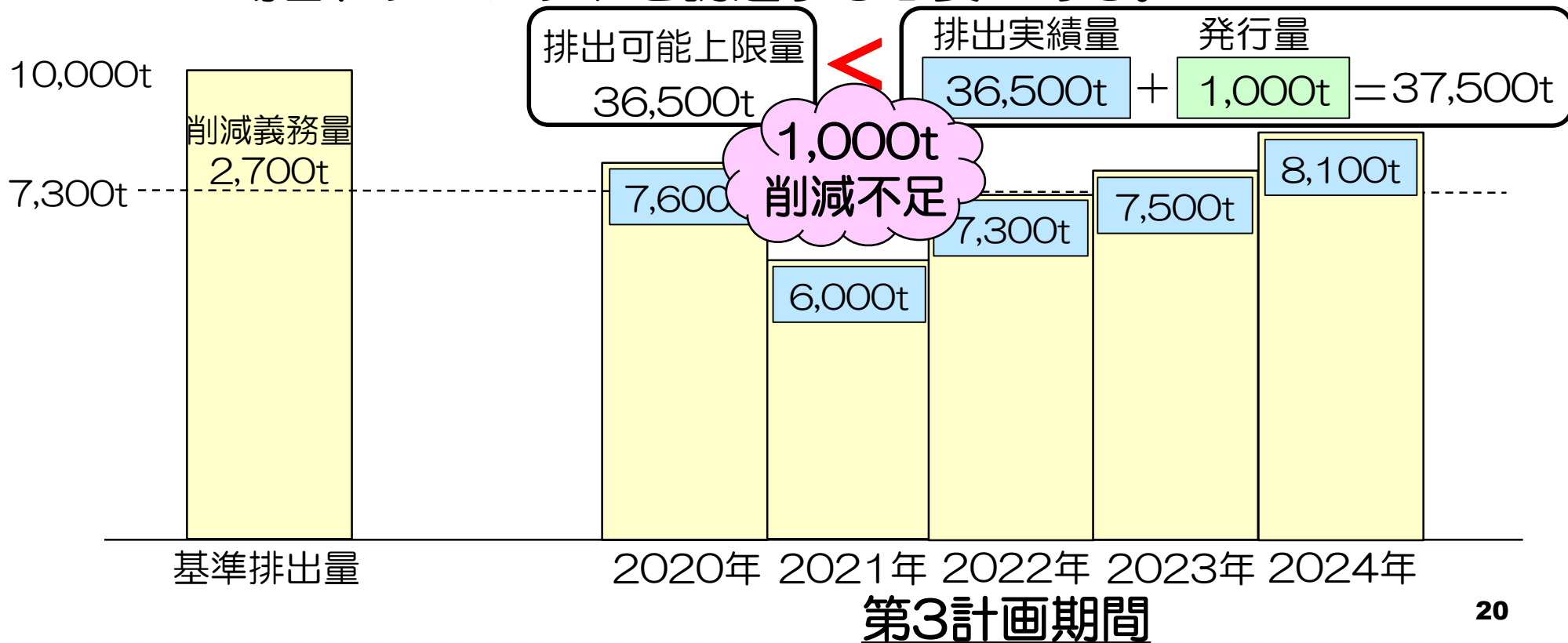
- いち早く取引を行うことで、収益を得ることが可能

事例4 超過削減量の発行時期と売却

ケース①：計画期間の途中で発行・売却

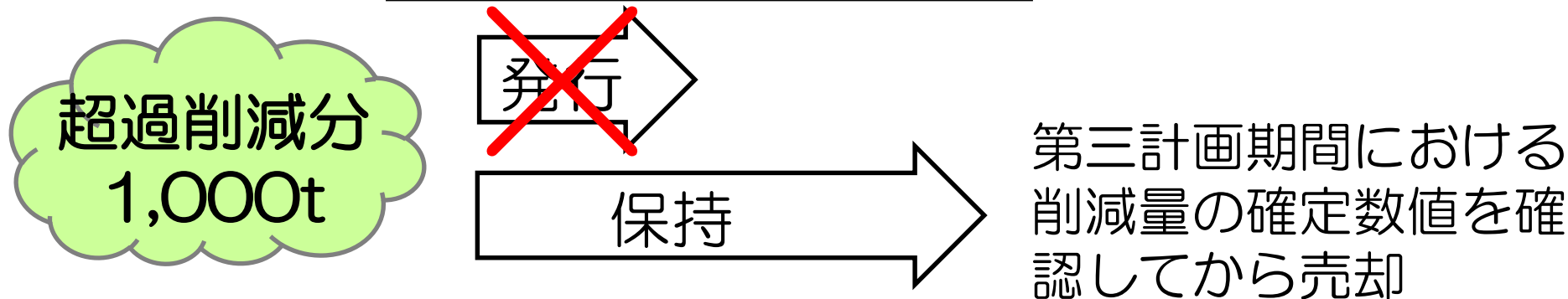
デメリット

- 計画期間終了後、最終的に削減義務量を削減できなかった場合、クレジットを調達する必要がある。



事例4 超過削減量の発行時期と売却

ケース②：計画期間の途中で発行せず、 削減実績として保持



メリット

- ・ 超過削減した翌年以降の削減量が削減義務量より少なかったとしても、超過で削減した1,000tを削減実績として活用できるので、クレジットを調達する必要がない。

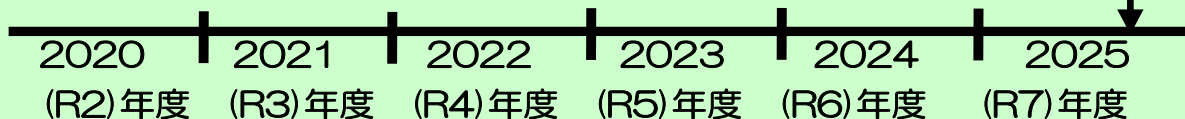
デメリット

- ・ 超過削減した翌年以降も削減義務量以上に削減できた場合は、早く得ることができる可能性のあったキャッシュの獲得時期が遅くなる。

事例 5 削減義務履行とバンキングの流れ

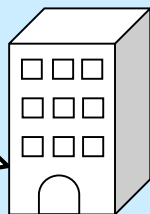
5年間の実績の確定

地球温暖化対策計画書



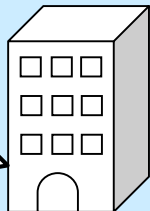
E社

削減義務量
削減できず



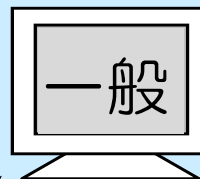
事業所a

削減義務量
削減



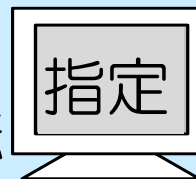
事業所b

不足分の調達
(排出量取引の実施等)



振替可能削減量
振替申請書

移転



自動で
義務充当

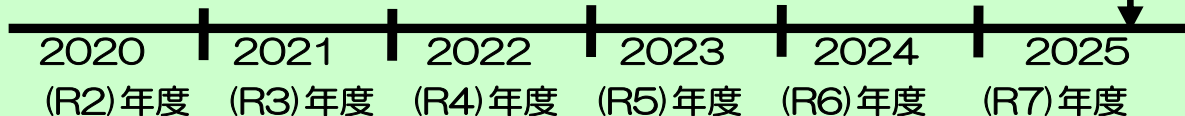
移転



事例 5 削減義務履行とバンキングの流れ

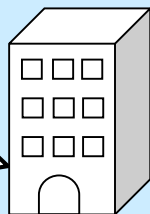
5年間の実績の確定

地球温暖化対策計画書



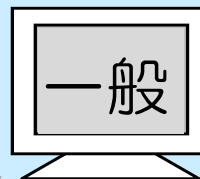
E社

削減義務量
削減できず



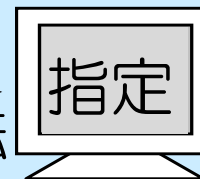
事業所a

不足分の調達
(排出量取引の実施等)



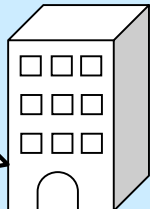
振替可能削減量
振替申請書

移転

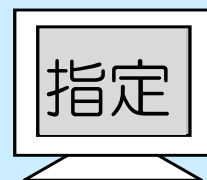


自動で
義務充当

削減義務量
削減



事業所b



移転



バンキング

整理期間末日時点で
自動的にバンキング



1. 排出量取引の事例

- (1) 取引の流れ
- (2) 具体的事例

2. 排出量取引の実績

- (1) 制度対象事業所のCO₂削減実績
- (2) 義務履行状況
- (3) 取引実績
- (4) 実績情報の掲載場所

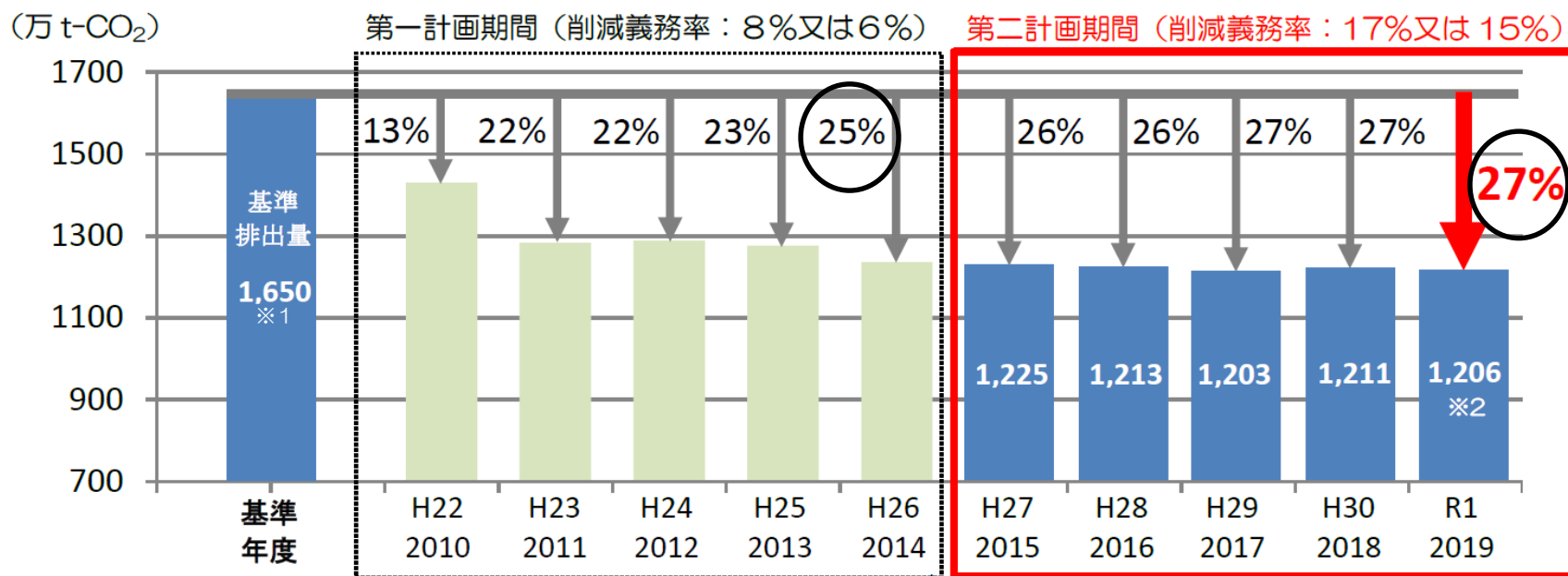
(1) 実績 ～制度対象事業所のCO₂削減実績～ (対象事業所全体)

◆ 第一計画期間

- 全ての事業所が義務を履行

◆ 第二計画期間

- 全ての事業所が義務を履行



《対象事業所の総CO₂排出量の推移》

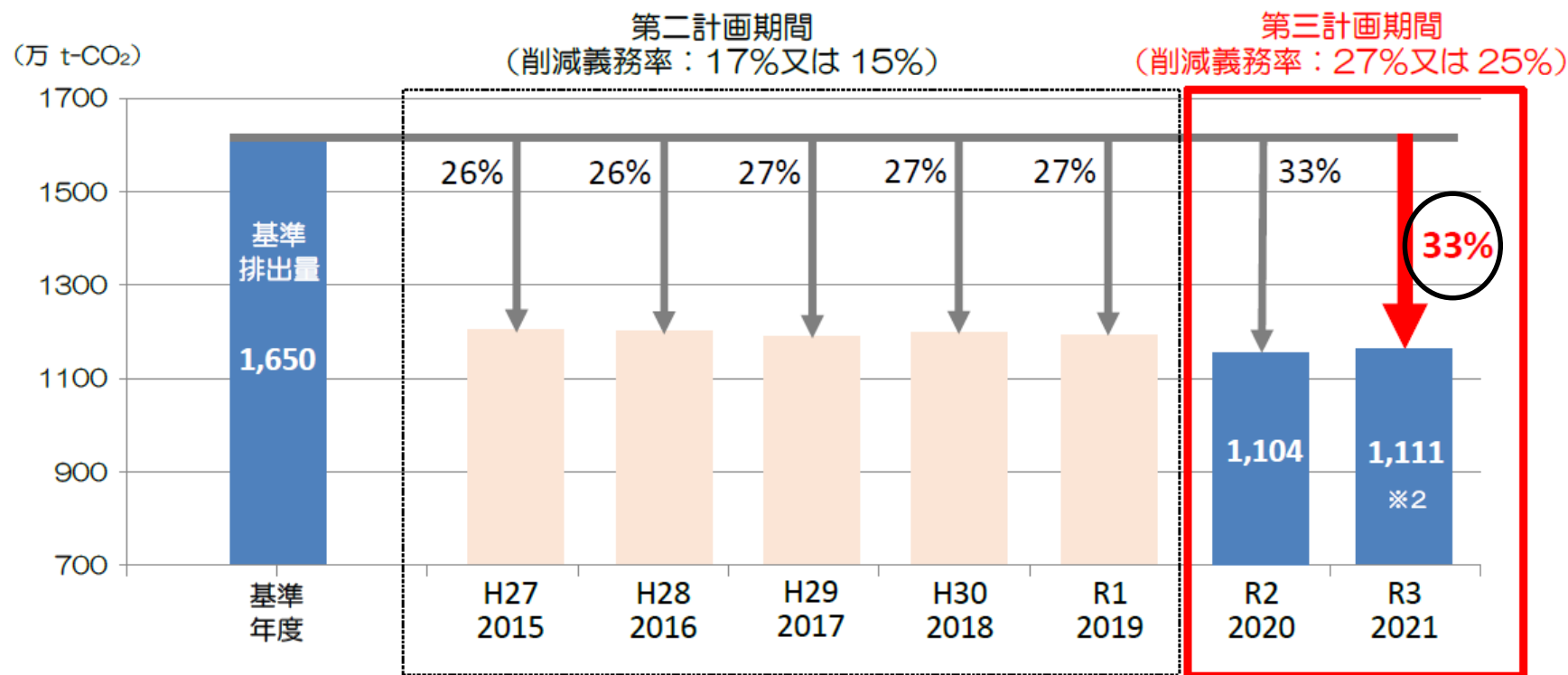
※1 基準排出量とは、事業所が選択した2002年度から2007年度までのいずれか連続する3か年度排出量の平均値

※2 2021年5月31日時点の集計値

(1) 実績 ～制度対象事業所のCO₂削減実績～ (対象事業所全体)

◆ 第三計画期間（1年目・2年目）

- ・ 基準年度比33%の削減



※2 令和5（2023）年2月6日時点の集計値（電気等の排出係数は第三計画期間の値で算定）

《対象事業所の総CO₂排出量の推移》

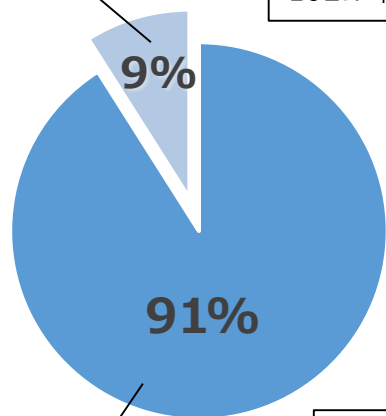
(2) 実績 ～義務履行状況～

● 第一計画期間

(削減義務率：8%/6%)

クレジット等を活用して義務履行
【124事業所】

削減義務に
不足した量
192.7千 t-CO₂



自らの削減対策
により義務履行
【1,262事業所】

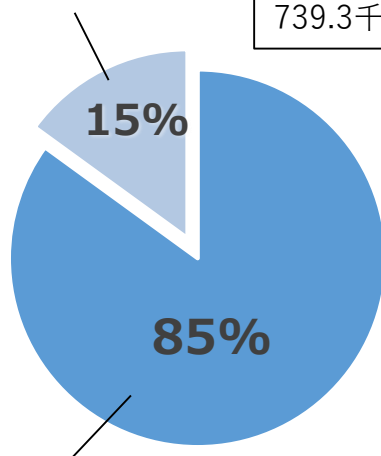
削減義務量
以上に
削減した量
10,080千 t-CO₂

● 第二計画期間

(削減義務率：17%/15%)

クレジット等を活用して義務履行
【183事業所】

削減義務に
不足した量
739.3千 t-CO₂



自らの削減対策等
により義務履行
【1,043事業所】

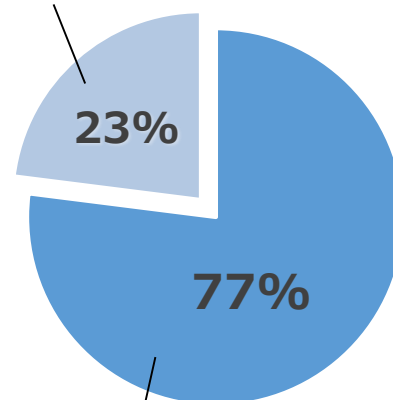
削減義務量
以上に
削減した量
11,834千 t-CO₂

● 第三計画期間（見込み※）

(削減義務率：27%/25%)

※ 第三計画期間において、2021年度実績から排出量が一定と仮定した場合の参考値

クレジット等を活用して義務履行を行う見込みの事業所



自らの削減対策
等により義務履行
見込みの事業所

(3) 取引実績 クレジットの発行状況

○環境局HPに毎月(15日前後)掲載

排出量取引等に係る情報(2023年9月)

1 クレジット等の発行

(1) クレジット等の発行量(量の単位はt-CO2)(令和5年度)

クレジット等の種類	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数	量	件数
超過削減量	13,567	5	0	0	980	1	3,774	3	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18,321	9
都内中小クレジット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
再エネクレジット(環境価値換算量)	0	0	0	0	0	0	0	0	521	6	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	521	6
再エネクレジット(その他削減量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
都外クレジット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
埼玉連携クレジット	0	0	0	0	0	0	439	1	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	439	1
合計	13,567	5	0	0	980	1	4,213	4	521	6	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19,281	16
その他ガス削減量※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0

※ その他ガス削減量は自らの削減にのみ使用できる(売却不可)。

(2) クレジット等の発行先(令和5年4月1日～令和5年9月30日) クレジット等の発行先は、発行先口座の口座名義人が希望した場合に限り公表されます。

口座番号	事業所の名称(指定管理口座) 口座名義人の名称(一般管理口座)	クレジット等の種類	発行量(t-CO2)	発行月
-	-	-	-	-

(3) 取引実績 クレジットの取引状況

○環境局HPに毎月(15日前後)掲載

2 クレジット等の移転量(量の単位はt-CO2) (令和5年4月1日～令和5年9月30日)

管理口座の種類	超過削減量		都内中小クレジット		再エネクレジット (環境価値換算量)		再エネクレジット (その他削減量)		都外クレジット		埼玉連携クレジット		その他ガス削減量		合計	
	移転量	件数	移転量	件数	移転量	件数	移転量	件数	移転量	件数	移転量	件数	移転量	件数	移転量	件数
指定管理口座から一般管理口座への移転	107,389	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	107,389	18
一般管理口座間の移転	1,594	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	1,594	4
埼玉県の一 般管理口座への移転	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	0	0
一般管理口座から指定管理口座への移転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
義務充当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 クレジット等の量(量の単位はt-CO2) (令和5年9月30日時点)

管理口座の種類	超過削減量	都内中小クレジット	再エネクレジット (環境価値換算量)	再エネクレジット (その他削減量)	都外クレジット	埼玉連携クレジット	その他ガス削減量	合計
指定管理口座	8,579,645	0	0	0	0	0	543,068	9,122,713
一般管理口座	2,704,642	26,620	4,309	53,713	4,915	278,161	-	3,072,360
他制度連携口座	127,815	0	-	-	-	0	-	127,815
義務充当口座	866,632	151	9,553	48,116	7,104	49,669	273,267	1,254,492
無効化口座	4,389,528	54,444	0	-	4,597	-	-	4,448,569
抹消口座 ※	6,607,901	8,865	39,852	291,170	98,457	94,579	197,600	7,338,424
合計	23,276,163	90,080	53,714	392,999	115,073	422,409	1,013,935	25,364,373

※2017年度のパンキング増量実施に伴い抹消されたクレジットは含まない。

(4) 取引実績の掲載場所

- 東京都環境局HP（制度実績の公表）

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/data/index.html#torihiki

- 東京都環境局HP（排出量取引）

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/trade/



約 1,550,000 件 (0.46 秒)

約 1,550,000 件 (0.46 秒)

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/data/>

制度実績の公表 - 東京都環境局

事業所ごとの削減実績、地球温暖化対策計画書等については、「総量削減義務と排出量取引制度システム」の公開情報において、一覧化されたExcelファイルをダウンロード...

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/trade/>

排出量取引 - 東京都環境局

2022年9月1日（木曜日）から「東京都の排出量取引制度に関するアンケート」（2022年度）を実施致します。調査対象者は、指定管理口座を保有している指定管理口座連絡...



音声読み上げ・文字拡大・色合い変更 Other Languages 都庁総合トップページ

サイトマップ キーワードを入力してください 検索



分野別のご案内

申請・届出

条例・計画・審議会

データ・資料・刊行物

環境局について

トップページ > 地球環境・エネルギー > 大規模事業所における対策 > 制度実績の公表

制度実績の公表

ページ番号：164-265-128

事業所ごとの削減実績、地球温暖化対策計画書等

本制度では、事業所のより進んだ取組みを促進することを目的とし、事業所の削減実績、取組状況を公表しています。

事業所ごとの削減実績、地球温暖化対策計画書等については、「総量削減義務と排出量取引制度システム」の公開情報において、一覧化されたExcelファイルをダウンロードして参照できます。

利用時間：開庁日（土日、祝日を除く）9時から18時まで

⇒Excelファイルのダウンロードは [こちらから](#)※（外部サイト）

⇒指定（特定）地球温暖化対策事業所の情報について利用時間以外の時間帯で参照したい方は

[こちらから](#)（エクセル：602KB）

※ただし、地球温暖化対策計画書等を併せてご覧になりたい方は、利用時間中に上の外部サイトにアクセスしてください。

大規模事業所における対策

> テナント等事業者の省エネ対策

> クレジットの無効化

> 「東京ゼロカーボン4デイズin 2020」の実現と「東京2020大会カーボンオフセット」への協力

> 制度概要

> 排出量取引

(4) 取引実績の掲載場所

- ・東京都環境局HP（制度実績の公表）

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/data/index.html#torihiki

- ・東京都環境局HP（排出量取引）

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/large_scale/trade/

ページ下部

排出量取引の実績等の情報

内容	更新日時	ファイル
排出量取引の実績等（2023年度）	2023年10月16日 new	📄 PDF（PDF：142KB）
排出量取引の実績等（2022年度）	2023年4月17日	📄 PDF（PDF：149KB）
排出量取引の実績等（2021年度）	2022年4月21日	📄 PDF（PDF：153KB）

※過去の実績は[こちら](#)

クレジットの無効化実績

内容	更新日時	ファイル
クレジットの無効化実績（2023年度）	2023年10月16日 new	📄 PDF（PDF：112KB）
クレジットの無効化実績（2022年度）	2023年4月17日	📄 PDF（PDF：119KB）
クレジットの無効化実績（2021年度）	2022年4月21日	📄 PDF（PDF：161KB）

※過去の実績は[こちら](#)

相談窓口にお気軽にご相談ください！！

「総量削減義務と排出量取引制度 相談窓口」では、
排出量取引に関する相談をお受けしています。

<総量削減義務と排出量取引制度 相談窓口>

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

東京都庁第二本庁舎 20 階南側

TEL : 03-5388-3438

Email : torihiki@ml.metro.tokyo.jp (取引制度・クレジットの無効化に関するご質問)
ondanka31@ml.metro.tokyo.jp (制度全般に関係するご質問)



ご清聴ありがとうございました。